

平成30年度 小林市立野尻中学校 学校関係者評価書

【学校の教育目標】

未来を生き抜くための確かな学力、豊かな心、
たくましいからだをもった子どもの育成

【学校経営ビジョン】

「夢」「挑戦」「貢献」をスローガンに、学校・家庭・地域が一体となって活力ある教育活動を推進することにより、学校教育目標の具現化を図り、信頼される学校づくりに努める。

《評価：4段階評価》

- 4 期待以上
- 3 ほぼ期待どおり
- 2 やや期待を下回る
- 1 改善を要する

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
知育	<p>○確かな学力の向上</p> <p>① 諸調査結果及びweb学習単元システムを効果的に活用し、個に応じた指導の充実と授業改善を図る。</p> <p>② ICTの積極的な活用と特別支援教育における支援体制の充実を図る。</p> <p>③ キャリア教育支援センターや地域人材の活用により、キャリア教育の充実を図り、学ぶ意欲を高める。</p> <p>④ 英検受験者延べ80人以上、合格率8割以上及び「学びたい度」64%以上を目指す。</p> <p>⑤ 「学習のきまり」など、学習規律の徹底を図る。</p>	<p>○ 生徒指導の三機能（自己決定・自己存在感・共感的人間関係）を生かした授業づくりを4期のPDCAサイクルで実践した。英語と数学については、今年度も苦手意識のある生徒が多いため、少人数指導やチームティーチングで学習を行い改善に努めた。</p> <p>○ 授業において関心を高める導入場面や実生活との関連を図るために、効果的な映像を使って視覚的に学習できるように充実を図ることができた。板書との併用についてさらに工夫をしていく必要がある。</p> <p>○ 学級活動や総合的な学習においてキャリア教育に外部指導者も活用しながら取り組んだ。将来の夢や目標については、さらに考えが深まる指導が必要である。</p> <p>○ 英検を延99人が受験し、合格率は67%であった。（3級の合格者の人数は14名）</p> <p>○ 学習の規律については、授業での集中力や課題提出などで個別指導を行い改善に努めた。</p>	① 2.9 ② 3.2 ③ 3.3 ④ 3.0 ⑤ 3.1	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生方の授業における工夫によって「先生の授業が分かりやすい」と答えている生徒が90%を超えている。その教科を好きになることで、学びが深まり、広がると考えるので継続をお願いしたい。 ・ 苦手としている数学と英語については、きめ細かな授業の手立てとして、少人数指導をお願いしたい。 ・ 英語については、英検受験者数の伸びや合格率は評価できるが、半数の生徒が苦手意識をもっているため、学校全体で、英語を身近に感じられるような取組を考えて実践していただきたい。 ・ キャリア教育では、卒業生を招いてのパネルディスカッションやライフプランナーによる授業、職場体験学習など様々な取組がありよいが、4人に1人が将来の夢や目標が定かでないようなので、更に充実できるように市や県のキャリア教育センターの事業も積極的に活用してほしい。
徳育	<p>○豊かな心の育成・生徒指導の充実</p> <p>⑥ 道徳教育及び人権教育の充実を図る。 (道徳の授業の充実、人権意識の高揚、いじめ・不登校0)</p> <p>⑦ SC、SSWと連携した教育相談体制を整備し、不登校や配慮を要する生徒の支援体制の充実を図る。</p> <p>⑧ 生徒会活動を活性化し、自主・自立及び貢献する心の育成に努める。</p> <p>⑨ 規範意識、礼儀作法等を中心に据えた基本的生活習慣の育成を図る。(凡事徹底)</p> <p>⑩ 読書の習慣化を図り、一人年間25冊以上を目指す。</p>	<p>○ 人権教育の充実を図るために、SNSをめぐる人権意識の高揚について、生徒アンケートの実態を手がかりに全生徒対象の講話を行った。また、家庭教育学級においても実態に基づいた保護者としての対応の仕方について講座を開催し連携を図った。</p> <p>○ 道徳科の教科書使用が来年度から始まることから、学校行事や各教科の授業と関連させた道徳の在り方について研修を行い指導力向上に努めた。</p> <p>○ 不登校や特別支援の必要な生徒についての教育相談体制を整え、ケース会議を適宜行い個に応じた対応に努めた。</p> <p>○ 自主・自立を目指した生徒会活動については、やや形骸化しているため改善が必要である。</p> <p>○ 読書に親しむ機会を国語の授業で意図的に設けるなどした。また、1、2年生は月に1度の読書ウィークを設けた。</p>	⑥ 3.2 ⑦ 3.7 ⑧ 2.8 ⑨ 3.3 ⑩ 3.0	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校の生徒への対応や特別支援教育については関係機関と連携しながら丁寧に対応をしていただいているので継続してほしい。 ・ 不登校の生徒のきっかけとして、人間関係の悩みによるものもあるようなので、道徳科や情報教育について更に充実を図っていただきたい。特に、スマートフォン等を半数の生徒が持っていることやほとんどの生徒が日常的にインターネットを活用しているようなので、情報教育では、操作方法にとどまるのではなく、正しい情報なのか判断する力や、犯罪等に巻き込まれないような知識、相手を思いやる気持ち等のモラル学習にも力を入れていただきたい。 ・ 生徒主体で企画・運営ができるように、教師の仕掛けの機会を増やしていただきたい。
体育	<p>○体力の向上と健康安全の充実</p> <p>⑪ 立腰指導の徹底及び「体力向上プラン」の計画的・継続的な実践や運動部活動を通して体力向上を図る。</p> <p>⑫ 体力テストのD・E段階の割合25%以下を目指す。</p> <p>⑬ 全職員による保健指導や保健だより等を通して、健康管理能力の育成に努め、虫歯治療率90%以上及び肥満の割合7%未満を目指す。</p> <p>⑭ 健康安全に関する指導を充実し、安全意識の高揚と危険回避能力の育成を図る。</p>	<p>○ 体育の授業において、運動の必要性や具体的な運動の仕方など学習を深めることができた。体育大会や駅伝ロードレース大会などを発表の場として、仲間と協力し合い、自己の能力を高めるために良く取り組んだ。</p> <p>○ 保健室を核に肥満の生徒対象の健康指導を行ったり、保護者へ食事や運動の在り方について情報提供をしたりした。また、全職員で虫歯治療率の向上を目指し取り組んだ。市の医療費一部助成制度が31年1月から開始したので、保護者への協力依頼がし易くなった。虫歯治療率は63.6%、肥満の割合は5.9%である。</p> <p>○ 安全点検を月に1度実施し、危険箇所の把握と修繕に努めた。室内での過ごし方については、落ち着いて生活を送るよう指導が必要である。</p>	⑪ 3.2 ⑫ 3.0 ⑬ 3.3 ⑭ 3.3	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診断の結果から改善しようとするところは伺えるが、虫歯の治療率がもう少しである。歯の健康は、一生大切にしたいものの一つであることから、今後も継続指導をお願いしたい。 ・ 体育大会での集団行動やダンス、競技の全てで体力の向上が伺えた。開会式等で体調不良を訴える生徒もおらず、夏休みからの生活リズム等も含めて体調管理がきちんと行っている様子も伺えた。 ・ 室内での過ごし方については、時と場に応じた行動ができるよう適切な指導を継続していただきたい。
食育	<p>○食育の充実</p> <p>⑮ 「弁当の日」の取組や給食指導を充実させ、食と健康への意識を高め、豊かな食習慣を育成する。</p> <p>⑯ 地域人材を活用した食に関する講話等を実施し、地産地消についての理解や食に対する実践力を高める。</p> <p>⑰ 朝食摂取率100%、残食0を目指す。</p>	<p>○ 家庭科の授業で、自分のお弁当をどのように作るか計画を立て各家庭で取り組んだ。また、夏休みに、生徒が「食の贈り物」と題して手料理を家族に振る舞い家庭で食について考える機会とした。</p> <p>○ 和牛農家さんを招いて交流給食を行ったり、栄養技師の講話を聞いたりして地産地消について学ぶ機会とした。</p> <p>○ 朝食摂取率(95.3%)については課題があるので、給食だよりや保健だよりを通じて、現状や必要感について継続して発信する必要がある。</p>	⑮ 3.4 ⑯ 3.2 ⑰ 3.1	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食と健康への意識を高める指導がよく工夫されている。農家さんとの交流等、地産地消を学ぶ機会もぜひ継続をお願いしたい。 ・ 朝食摂取率を上げるためにも、朝食の必要感の学習を継続指導することと合わせて、保護者への啓発もお願いしたい。 ・ お弁当の日や食の贈り物については、作り手への感謝、食への感謝など多くの学びがあるので、継続指導をお願いしたい。 ・ 大根の栽培学習と収穫・調理に取り組んでいることは、育てる喜びや食を楽しむことから大変素晴らしい活動である。
次年度の方向性についての校長所見		生徒一人ひとりが向上心をもって楽しく充実した学校生活を送れるように、知・徳・体・食のバランスのよい教師の仕掛けや校内の仕組み作りを行い、夢や目標を見つけながら自立に向けて邁進する子ども、相手を思いやり行動できる子ども、周りに貢献できる子どもの育成を目指していきたい。			